# 耳公民館だより

第70号 令和7年6月

（折り紙サークルさんの作品）

「たのしい折り紙」サークルさんが力作を窓口に置いてくださいました。今回は「あじさい」です。よく見ると、かたつむり、かえる、雨、傘、レインコートなどがあって季節感たっぷりです。
あじさいの花と葉っぱを本物に見せる折り方の技もすばらしいですが、この写真では伝わりませんね。公民館まで足を運んでご覧ください。

## モルック（室内用）あります。耳公民館へどうぞ。

ご要望があれば、集落のセンターへも伺います。畳やカーペットの部屋でもできますよ。

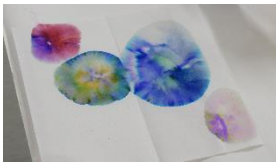
公式モルックは、けっこう重い木製ですが、
室内用は紙製です。床を傷つける心配がなく、
軽いので子供から高齢者までみんなで楽しめます。

## 放課後子ども教室（第1回） 5/14(水)

今年度からスタートした新しい事業です。中央小は耳公民館が会場です。

まずは宿題から

次は、立ち寄り型
「インクの花」



みんなで室内モルック

# 昔なつかし　丸いす作り

**7月12日(土)　9:30～11:30**

**会　場：中央小学校 図工室**

**参加費：500円（1脚分の材料費）**

**申し込み：耳公民館へ　☎32-0027**

**7月1日(火)〆切**

切断済みの材料を組み立てて
色を塗って仕上げます。

# 中央小児童　写生画作品展

公民館ろうかで１～６年生の写生画を展示します。子供たちの目線で描いた力作をご覧いただき、ほのぼのとしたひとときをお過ごしください。
写生場所は、モーモーハウス、早瀬漁港、レイクセンター、はまびよりです。

## 館長のつぶやき

あじさい

桜の写真展をそろそろ片づけようと思っていたところ、窓口にあじさいの素敵な折り紙作品が飾られました。桜とあじさい、どちらも日本人の職人技が生み出した美しい花です。「ソメイヨシノ」は江戸の染井村の植木屋さんが、親のわからない種をまいて偶然の交配でできた新品種ということです。花着きがよく病気にかかりにくい上に、さし木で増やしやすいことから全国に広まりました。

あじさいもとても丈夫な植物で、ばっさり切っても翌年にはまた美しい花を咲かせます。こちらの方は本来の品種は「ガクアジサイ」で、両性花という種子をつくる役目の花と虫を寄せる装飾花という二重構造になっています。現在では品種改良によって装飾花だけになった「てまり咲き」という球形の花が多く見られ、様々な色合いの新品種が次々と生み出されています。

品種改良を専門とする「育種家」という、農業の将来ひいては人類の未来にかかわる仕事をされている方の話ですが、商売がたきが画期的な新作を出したときに「やられた」ではなく「さっそく花粉をいただいて交配しちゃおう」と思うそうです。あじさいと同じくたくましいですね。

積極的に他を参考にする姿勢には公民館の事業も学ぶところがあります。育種家さんのように品種改良レベルの微妙な調整はできませんが、とにかくやってみるかまえです。

「調整」よりも「挑戦」、カタカナ言葉でいうと「アレンジ」より「チャレンジ」です。表現はかなり微妙ですが。

**お問い合わせ先：**美浜町河原市 8-8　美浜町歴史文化館内　電話３２－００２７　森本・加藤